

1 - 3 えりも岬付近の上下変動

Vertical Crustal Movements near Erimo Promontory

国土地理院測地部
Geodetic Division,
Geographical Survey Institute

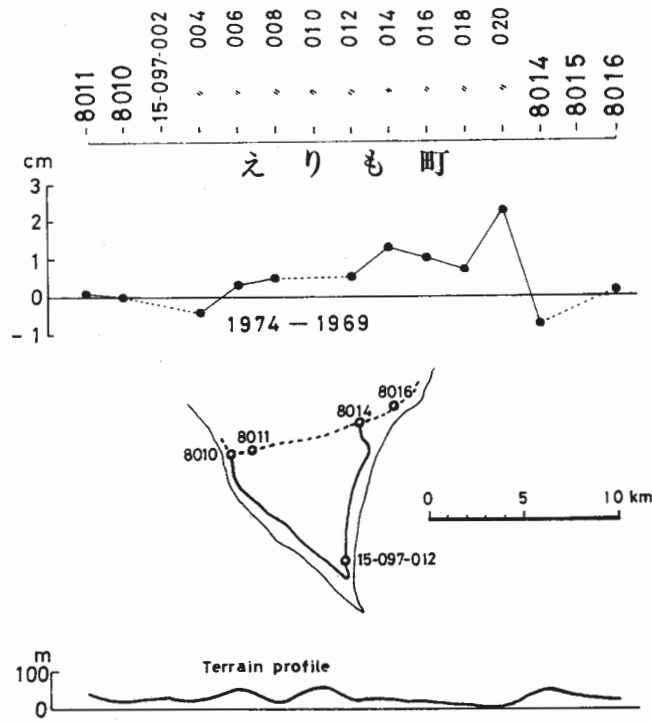
1974年8月から9月にかけてえりも岬付近の二等水準路線の改測が実施された。この二等水準路線は、一等水準路線が岬まで到達していなかったため、1969年10月新設されたものである。えりも岬は海岸段丘もよく発達し、北海道東南部に発生する大地震の調査のためにもその地殻変動が注目されているところなので、すべて観測は新旧水準測量とも一等水準の精度で実施されている。

第1図に1969年～1974年間の上下変動を示す。変動量は微小であるが東海岸は西海岸にくらべ隆起の傾向がみとめられ、15-097-020と8014の間には変動の不連続が認められる。

かつて中井新二は、国土地理院のデーターにもとづき1952年の十勝沖地震にともなうこの地方の地殻変動を議論したことがある¹⁾。1968年十勝沖地震にともなう上下変動は横山泉その他によって議論された²⁾。これらの結果と今回の結果とを比較すると、例えば、8010からみて8014は1968年の十勝沖地震の際約40mm隆起したが、そのご1968年より1969年の1年間では反転し約35mm沈下した。今回はさらに8010よりみた8014の沈下がなお継続しているという結果となっている。

参 考 文 献

- 1) 中井新二, 北海道日高地方の地殻変動についての一考察, 北大地物研報告, 15 (1966), 49
- 2) 横山泉・浦上晃一・有松啓治, 1968年十勝沖地震後のえりも地方の水準点改測結果, 北大地物研報告, 22 (1969), 31



第1図 えりも岬付近の上下変動

Fig. 1 Vertical movements near Erimo Promontory.